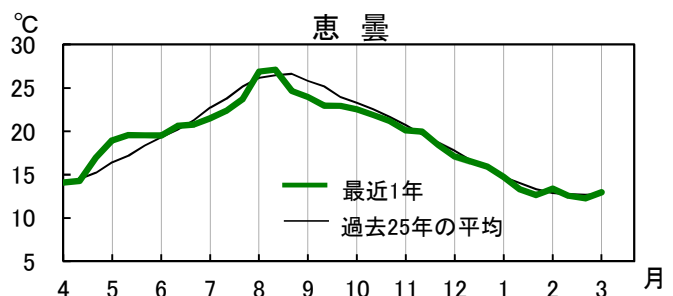
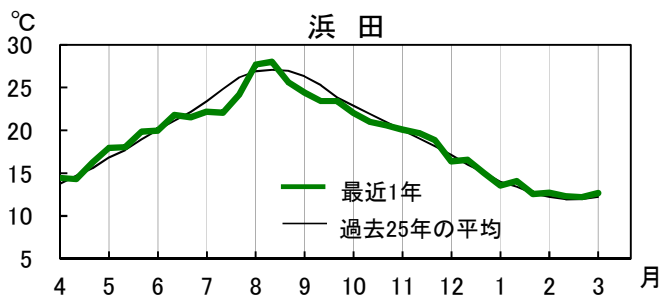




## 《2～3月の海況》

2月	月平均	平年差	評価
浜田	12.4℃	+0.3℃	平年並み
恵曇	12.8℃	+0.03℃	平年並み

沿岸定地水温は、浜田地区では2月は、上・中旬は「やや高め」、下旬は「平年並み」となり、3月に入り上旬時点で「やや高め」で経過しています。恵曇地区では2月は、上旬は「やや高め」、中旬は「平年並み」、下旬は「やや低め」と変動し、3月に入り上旬時点では「平年並み」で経過しています。



## 《2月の漁況》

## 【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は51.0トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、マアジは79トンで平年の5割だったものの、サバ類が561トンで平年の2.1倍となりました。隠岐地区ではマアジ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は、32.4トンで平年を下回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、マアジは1,972トンで平年並みだったものの、サバ類は680トン、ブリは127トンでそれぞれ平年の4割程度となりました。また、マイワシが184トン、ウルメイワシが334トン漁獲されました。

## 【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではスルメイカ主体(全体の99%)で、ヤリイカ(同1%)とケンサキイカ(同1%未満)がわずかに混じる漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は821kgで平年を下回りました。一方、西郷地区(属人5トン以上)では漁獲がありませんでした。

## 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではマフグ主体の漁況で、1統1航海当たり漁獲量は18.6トンで前年の1.3倍で平年並の水揚げとなりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、マフグは平年の4.0倍、スルメイカは平年の5割、ミズダコは平年の1.2倍でした。その他、ソウハチは平年の5割、アンコウは平年の9割、ヒレグロは平年の5割、ムシガレイは平年の7割の水揚げでした。

## 【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、アカガレイ、ヒレグロが主体で、1統1航海当たり漁獲量は783kgで前年の1.0倍、平年並の水揚げとなりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、ソウハチ・アカガレイはいずれも平年並、ヒレグロは平年の7割の水揚げでした。その他、ニギスは平年の6割、アンコウは平年の5割、キダイは平年の1.1倍、マトウダイは平年並、アカムツは平年の6割、マフグは平年の1.6倍の水揚げでした。

## 【定置網漁業】

出雲地区ではヤリイカ、クロマグロ、スルメイカ主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は9.1トンで平年の5割の水揚となりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、ヤリイカ、クロマグロがそれぞれ平年の1.2倍、7.4倍、スルメイカは平年の1割でした。石見地区ではヤリイカ、サバ類主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は13.6トンで平年の2.3倍の水揚となりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、ヤリイカ、サバ類がそれぞれ平年の5.5倍、3.1倍でした。隠岐地区ではマアジ、スルメイカ、ヤリイカ主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は6.8トンで平年の2割の水揚となりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、マアジ、ヤリイカは平年並みでしたが、スルメイカは平年の1割でした。

## 【釣・縄】

出雲地区ではブリ、サワラ類が主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は34kgで平年を下回りました。石見地区ではヒラマサ、サワラ類、ブリが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は23kgで平年を下回りました。隠岐地区ではブリ、カサゴ・メバル類が主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は34kgで平年並みでした。

【平成 28 年 2 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類	663トン	128%	149%	51.0トン	128%	167%	◎
	隠岐	マアジ、サバ類	3,367トン	93%	67%	32.4トン	75%	60%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	121トン	29%	56%	821kg	41%	65%	▲
	西郷	水揚げなし	—	—	—	—	—	—	—
沖合 底びき網	浜田	マフグ、スルメイカ、ミズダコ	446トン	148%	143%	18.6トン	129%	151%	◎
小型底曳網	大田	ソウハチ、アカガレイ、ヒレグロ	280トン	102%	79%	783kg	101%	100%	○
定置網 (大型)	出雲	ヤリイカ、クロマグロ、スルメイカ	64トン	42%	42%	9トン	42%	49%	▲
	石見	ヤリイカ、サバ類	27トン	293%	158%	14トン	293%	225%	◎
	隠岐	マアジ、スルメイカ、ヤリイカ	14トン	12%	19%	7トン	18%	23%	▲
釣り・縄	出雲	ブリ、サワラ類	42トン	74%	48%	34kg	64%	58%	▲
	石見	ヒラマサ、サワラ類、ブリ	19トン	57%	43%	23kg	73%	69%	▲
	隠岐	ブリ、カサゴ・メバル類	12トン	86%	66%	34kg	100%	87%	○

平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

大型定置網漁業は1統当り漁獲量です。

今月は「ケンサキイカ情報」はお休みです（5月号から再開する予定です）。